



平成13年12月25日発行



三重県内各地で次々に生まれつつある  
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

## 津市市民活動センター 津市



津センターパレスビル



3階の事務所カウンター

ふれあいいきいきサロン

津市市民活動センターは、津市の中心、大門にある津センターパレスビル内に平成13年4月にオープンしました。以前はショッピングセンターだった2階3階のフロアを利用しているので、小学校の教室に換算して30個分以上の非常に広いスペースが自慢です。

ここに、1,市民ワークステーション、2,市民オープンステージ、3,地域福祉ステーションといった、多様な機能が盛り込まれた拠点として利用されています。

市民ワークステーションは、会議や作業に活用できます。3階のオープンスペースでは少人数のミーティングを自由に開け、また2階3階の大小4つの会議室も、空いてさえいれば予約無しでも使用できます。その他、簡易印刷機やコピー機、紙折り機なども完備したワーキングルームがあります。また、ふれあいいきいきサロンとして、高齢者や子育て中の親の交流には板敷きのスペースが大活躍しています。さらに、市民活動やボランティア団体の事務所として活用できる市民活動オフィスも設置されています。ここは2.5メートル四方の19区画のブースが設けられ、月5000円で利用することができます。

2階には縦横30メートルの広さの市民オープンステージがあります。広いスペースを活用して、さまざまな市民活動などの成果発表や作品の展示会、講演会等に利用されています。

地域福祉ステーションは、3階に事務所のある津市社会福祉協議会が中心になっています。ここでは地域福祉の拠点として、また市内で活動するさまざまな分野のボランティアの拠点として利用されています。

この地域福祉ステーションを除く、2階3階のスペースを、市民活動団体が中心となって組織した津市市民活動センター運営委員会が、津市から委託を受けて運営しています。運営委員会では、利用する人の意見を聞きながら、より便利でより利用しやすいセンターを目指しています。

この津市市民活動センターは、ボランティア活動やNPO活動だけでなく、自治会活動や商店街などのまちづくりに関わる活動など、様々な活動に利用できます。3階のパソコンコーナーやキッズプラザは市民活動に関わっていない人たちにも好評で、毎日たくさんの方が利用しています。このセンターを利用する事で、広く市民に、市民活動やボランティア活動に興味を持つきっかけを見つけてもらえればと思っています。

【津市市民活動センター(津市が設置し津市市民活動センター運営委員会が管理運営)】

●開館時間/AM10:00~PM10:00 休館日/年末年始(12月29日~1月3日)

(津市社会福祉協議会の執務時間はAM8:30~PM5:00)

●所在地/514-0027 津市大門7-15 津センターパレス 2階、3階

●Tel./059-213-7200 Fax./059-213-7201 ●E-mail/tsusimin@zvtv.ne.jp

●ホームページ <http://www1.mint.or.jp/~hagino/center.html>

### ◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981・5982・

5983

Fax.059-222-5971

E-mail [open@mienpo.net](mailto:open@mienpo.net)

県NPO担当ホームページ

<http://www.mienpo.net/>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

# イベントスケジュール

## 俳句ってこんなに楽しく 面白い新春トーク

ゲストと基調講演に日本伝統俳句協会事務局長 坊城俊樹先生をお招きして、俳句についての楽しいトークと講演を開催します。

【四日市会場】

●とき／1月10日(木)AM10:00～正午

●ところ／四日市市文化会館 第3ホール

【津会場】

●とき／1月11日(金)AM10:00～正午

●ところ／アスト3F みえ市民活動ボランティアセンター

●参加費／無料

●申込方法／電話で申し込んでください。Tel.059-255-2651

●内容／俳句がこんなに楽しく面白い!

1. AM10:00～10:30 Qちゃんの俳句教室

三重県俳句インストラクター光野及道氏

2. AM10:30～11:00 基調講演坊城俊樹先生

3. AM11:00～正午 フリートーク

●主催／NPO俳句みえ

## 「松元ヒロSolo Live」

四日市まんなか子ども劇場は、子ども達が豊かな子ども時代をすごせるように鑑賞活動を実施しています。このたび、特別公演「松元ヒロSolo Live」を企画しました。

出演者の松元ヒロ氏はコント集団「ザ・ニューズペーパー」に結成当時から参加し、ニュースを素材にしたコントで活躍してきました。1999年の独立後も「村山総理のアイムソリー」「憲法君」など1人コントで好評を博しておられます。

●とき／平成14年1月19日(土)PM3:00開演／PM7:00開演

●ところ／じばさん三重・6階ホール

●料金／2000円

●連絡先／四日市まんなか子ども劇場

四日市市西町15-16 Tel.0593-51-6670

E-mail mannaka@guitar.ocn.ne.jp

月～金 AM10:00～PM5:00

●後援／四日市市教育委員会、楠町教育委員会、菟野町教育委員会、特定非営利活動法人三河地区子ども劇場センター

## 第2回よせなべパーティー開催のご案内

紀北地域市民活動団体・グループ交流会

●とき／平成14年1月20日(日) PM1:00～4:00

●ところ／尾鷲市福祉保健センター4階多目的ホール

※駐車場が少ないのでなるべく乗り合わせをお願いします。

●内容／目標や手段が違って、地域を豊かに楽しくしたい気持ちは同じです。いろんな分野の方が一同に集まってお互いのことを知ることでもまた新しい方向が見つけたのではないかと考えています。ぜひ気軽にご出席ください。この集いは「この指とまれ」方式です。面白そう!ちょっと覗いてみようかと考える人も大歓迎です。互いの情熱を交換しあい明日へのエネルギーにつながればと思いますのでよろしく願います。よせなべ茶Ron代表 七見憲一

【第1部】

・基調講演「先進!!伊賀の市民活動から学びましょう」

～ウィリアム・テルズ アップルのまちづくりへの挑戦!

講師 ウィリアム・テルズ アップル代表 中村伊英さん

講師 W.T.Aまちづくりセンター長 中盛汀さん

【第2部】

・わいわい分科会「みんなででったおらい!」

団体どおしの仲間づくりについて考えよう!!市民活動の拠点づくりや地域のネットワークについてみんなでわいわい話し合ひましょう。

●参加費／300円

●申し込み／ハガキに住所、氏名、電話番号等記入の上、事務局まで送付してください。出席は1団体何人でも結構です。お手数ですが欠席の場合もお知らせください。

●主催／よせなべ茶Ron

●問い合わせ先／519-3664尾鷲市坂場町1-12 七見憲一(よせなべ茶Ron代表) Tel.05972-2-7043

〒519-3695 尾鷲市坂場西町1-1 紀北県民局企画調整部 NPO担当南口晶子 Tel.05972-3-3409

よせなべパーティーは2001年ボランティア国際年事業に協賛しています♪

## 人権フォーラムいが

—人権の21世紀を迎えて—

●とき／平成14年1月20日(日) AM9:30～PM5:00

●ところ／ふるさと会館いが・伊賀町中央公民館(伊賀町下柘植)

●参加費／無料(希望者に参加券を配布しますので下記の問い合わせ先へ連絡ください。)

【プログラム】

AM9:30～ 開会行事(ふるさと会館いが)

AM10:00～正午 パネルディスカッション(ふるさと会館いが)

コーディネーター

森下勝幸さん(部落解放同盟三重県連執行委員長)

パネリスト

寺澤亮一さん(奈良人権・部落解放研究所長)

植村知恵子さん(三重県学校厚生会事務局長)

牧口一二さん(障害者文化情報研究所長)

韓 久さん(在日大韓国民団三重県本部事務局長)

正午～PM3:00 地元特産品等の展示・販売(ふるさと会館いが)

※食べ物コーナーもあります。

PM1:15～2:45 市民による人権劇等(伊賀町中央公民館)

・新風世代(伊賀町) 人権劇「明日という大空」

・Toys For Tots—JAPAN ～ほんの一步踏み出すだけで始まる国際ボランティア～(活動報告・募金依頼)

・朗読(島ヶ原村) 人権劇「誇り—出会いの中で生きること—」

PM3:00～5:00 記念公演「残波大獅子太鼓(沖繩)」(ふるさと会館いが)

●主催／阿山・名賀同研連絡協議会、伊賀県民局広域人権まちづくり事業推進協議会

●問い合わせ先／伊賀県民局生活環境部人権啓発室

Tel.0595-24-8137

## 第2回 環境を考えるつどい

Agriロマン四日市サルビア&34530会&三河宮農連絡会講演会『生活創造と環境問題』

●とき／平成14年1月23日(水)AM10:00～PM3:30

●ところ／三重県四日市庁舎6階大会議室(四日市市新正4丁目21-5)

●講師／高松平蔵さん(ジャーナリスト)

●内容／

講演…環境先進国ドイツで暮らし、ゴミ問題、環境問題への取り組みを取材・体験した中で、環境負荷を減らす暮らし方、資源循環型社会に向けて参考にすべき点をお話しいたします。

分科会…ひとりひとりが、環境負荷の大きい暮らし方を見直し、環境問題をどう解決していくか、今からできることは何か…について話し合います。

【第1分科会】環境教育。講師・高松平蔵さん(ジャーナリスト)

【第2分科会】暮らしの中から考える環境。講師・味沢道明さん(キッチンエコロジスト)

【第3分科会】環境と農業。講師・目崎茂和さん(南山大学)

【第4分科会】民・官・産 協働で創る資源循環型社会—三重からの発信—講師:朴恵淑さん(三重大学)

●定員/200人 ●託児あり(要予約)

●問い合わせ/四日市鈴鹿地域農業改良普及センター 510-8511 四日市市新正4丁目21-5 Tel.0593-52-0637 Fax.5093-52-0320

女も男も元気な社会づくりフォーラム

## DV防止法と人権 その時わたしたちは

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が制定、施行されました。DV(ドメスティックバイオレンス)について、ウイメンズカウンセリング京都の井上摩耶子さんによる基調講演と、模擬事例をもとに会場全体で考え合います。皆様方のご参加をお待ちしています。

●とき/平成14年1月25日(金)AM10:00~12:30

●ところ/フレンテみえ セミナー室C

●主催/男女共同参画ネットワーク会議

井上摩耶子(いのうえまやこ)さんプロフィール

1939年生れ。知的障害児通園施設や、高等学校のカウンセラーをへて、1991年からフェミニストカウンセラーを名乗る。1995年に「ウイメンズカウンセリング京都」を開設。カウンセリング、サポートグループ活動とともに、性暴力被害者や夫・恋人からの暴力被害者のための代弁・援護活動に積極的に取り組んでいる。

## 子どもとの関わりを実践的に学びたい学生 のためのボランティア・スクール

発達障害児の地域発達援助システムのボランティア・スタッフ養成講座

企画の運営主体は、学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能広汎性発達障害(高機能自閉症・アスペルガー症候群)の軽度発達障害の子どもたちの発達援助システムである「アスペの会・エルデの会」と「アスペ・エルデ親の会」です。発達障害児への指導の仕方や地域発達援助システムの運営に関する専門家の指導を受けながらアスペ・エルデの子どもたちと関わって頂く、意欲のある大学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

【プログラム概要】

1)入門期:2月~4月。基本的な発達障害児に関する知識と、実際に子どもと関わるための関わり方の講義と実習。

2)基礎研修期:4月~翌年1月。発達障害児の地域発達援助プログラムに実際に参加しながら、担当の子どもとの1対1を基本とした子どもとの関わり方に対する継続的指導を受ける等。

3)専門研修期:翌年2月~その翌年3月。発達障害児の地域発達援助プログラムに実際に参加しながら、子どもに対する個別治療教育プログラムの作成・指導案の作成と取組み、地域発達援助システムの運営に関する指導を受ける。

●とき/平成14年2月~平成16年3月までの2年間

●ところ/三重県内を中心に、愛知県、岐阜県等

●説明会/1月26日(土)PM2:30~ 津リージョンプラザ第2会議室

●参加費/無料(交通費などの実費は必要)

●募集人数/県内在住で東海地区の大学・専門学校に通学中の学生10人

●申込・問い合わせ先/アスペ・エルデ親の会三重県支部  
Tel.090-3954-9827 E-mail mie@as-japan.jp ホームページ <http://homepage2.nifty.com/aspergermie/>

四日市市委託事業

## 「2001コラボ企画 市民と行政の協働」 NPOマネジメント講座 [NPO探検隊]

研究発表会お知らせ

平成13年10月より3コース各6回にて、マネジメント講座を開催してまいりました。各コースとも、ゴールが見えてきたところです。その成果を聞いていただきたく、研究発表会を開催いたします。

●ところ/なや学習センター(四日市市蔵町4-17)音楽室

●とき/平成14年2月3日AM10:00~PM5:00(休憩1時間)

なお、1月23日中級講座の時に、三重県NPO室上田恭生さんからNPO法人設立手続きについての話を聞きます。どなたでも参加していただけますので、お気軽にお越し下さい。(PM1:30から2時間の予定)

●問い合わせ先/地域づくり考房 みなと

Tel.0593-50-0201 四日市市民活動センター 辻本

## ネットワークのよびかけ

三重環境県民会議

## 基金審査委員会委員の公募のお知らせ

三重環境県民会議は、自主的な環境保全活動の活性化を通じて、三重県の良好な環境の保全を図るために、平成12年に設置された組織です。暮らしの中の身近な環境問題を取上げ県民運動として取り組むとともに、様々な環境情報をみなさんに伝えたり、助成制度などを運営しています。三重環境県民会議は県民運動企画委員会(事業の企画・運営など)と基金審査委員会(助成金審査など)から構成しており、両者によって三重環境県民会議の公正な運営を確保しています。

このたび、基金審査委員会は、9名でしたが、2名交替しますので、そのうち1名を、下記のとおり募集します。助成金の審査を通して三重県各地で行われる環境活動を応援してみませんか。

●募集対象者/環境に関する市民活動団体を実践している個人で、三重県に住所のある方

●募集要件/「環境」に関心があり、他人の話を聞ける方。夜間の会議(年十数回)に出席可能な方、特に3月、4月、8月、9月は審査作業が集中します。自宅からメールによる迅速な意見交換ができる方。

●応募方法/A4用紙1枚に、住所、氏名、年齢、職業、電話、FAX、Eメール、所属団体名のほか、活動内容(100字以内)、審査委員として何をしたいのか(応募の動機)200字程度で記載して、郵送、FAX又はEメールで申込みしてください。

●応募期限/平成14年1月20日(日)必着

●選考方法/書類審査に加えて、必要に応じて面談をすることがあります。選考結果は、1月中に本人に直接通知するとともに、新任の委員に関しては、三重環境県民会議のホームページなどを通じて広報させていただきます。

●申込・問い合わせ先/510-0304 河芸町上野3258 財団法人三重県環境保全事業団内 三重環境県民会議 TEL 059-245-7512 FAX 059-245-7518

E-mail kenmin@mec.or.jp ホームページ<http://www.mec.or.jp/kenmin/>

## あいつの現在の事務所の次の入居者を募集しています。

事務所は津新町駅から徒歩で5分、津新町通り沿いのビルの2Fにあります。

住所：津市南丸之内11-134、5帖×2、6帖×1、台所4.5帖の3DK、バス、トイレ付き、家賃は45,000円＋光熱費5,000円です。希望であれば電灯・クーラー・テーブルなどの備品を置いていきます。個人ではなくNPO団体の方を希望します。

### ●連絡先／

12月中・Tel.059-222-4525、Fax.059-222-4526

14年1月よりTel.059-238-3085、Fax.059-238-3086

514-0817 津市高茶屋小森町2892-157

ガールスカウト三重県支部から  
パキスタンの難民の子ども達に

## ピースパック(平和の小包)を贈ります。

### ●ピースパック(平和の小包)とは。

世界中には、戦争や災害などによって、いろいろな境遇におかれた子どもたちがたくさんいます。

1994年から、日本のガールスカウトは、世界平和を願う活動の一つとして、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)と協力して、難民の子どもたちに「ピースパック(平和の小包)」というプレゼントを贈る活動をしています。世界のガールスカウトが、それぞれ違う国の難民の子どもたちに、このプレゼントを贈っています。日本のガールスカウトは、パキスタンにいるアフガニスタン難民やアフガニスタン帰還民の子どもたちに、今までの7年間で約100,000個のピースパックを届けました。

品物が本当に届くかを知るとはとても大切な事です。この活動は、国連の機関である国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)と協力しており、またガールスカウトのスタッフも現地に行き、確実に届けるための活動をしています。

ガールスカウト三重県支部は津市市民活動センター3階の市民活動オフィスに入居して活動の拠点にしています。このたび、(社)ガールスカウト日本連盟のピースパックプロジェクト(平和の小包)に連携して、ボランティアや市民のみならず呼びかけます。また送料の支援も募っています。こちらもよろしくお願ひします。

### ●寄付をお願いしている品物

・ノート(B5サイズ・合計200ページ目安)・スケッチブック2冊(A4サイズ以内)・鉛筆・鉛筆削り1個・消しゴム・ボールペン(色の指定なし)・定規1本(長さ30センチ以内の細長い定規)・色鉛筆セット1箱(12色セット)(クレヨン可)・車のおもちゃ(ミニカー)・歯みがき粉と歯ブラシ・洗面タオル・なわとび1本

靴も不足しています。使用に耐えるものなら中古でもかまいません。サイズ、色、素材・形は問いません。サンダルや体育館シューズでもオッケーです。余っている靴がありましたら、ご協力お願いします。

### ●寄付するには

センターパレス3階の津市市民活動センターのカウンターに、寄付のための箱が置いてあります。品物はすべて揃ってなくてもかまいません。みんなで持ち寄りセットにします。

### ●問い合わせは

ガールスカウト三重第3団 ジュニア部門  
Tel.059-233-2398(川北・自動fax付き)

### ●全国での活動は

「ピースパックプロジェクト」は、今後も続けていく計画です。もっと詳しく知りたい方は、(社)ガールスカウト日本連盟(Tel.03-3460-0701)までお問い合わせください。

<http://www.girlscout.or.jp/howto/katudo/activities/peace.html>

ある高校生からのメッセージ

## テロとその報復、あなたはどう思いますか？

○今、私は「米中枢同時テロの公正かつ公平で平和的な裁きを求める署名」の署名活動をしています。テレビで世界貿易センタービルにつつまむ飛行機の映像を見た時、恐怖を覚えました。しかし、その報復も絶対に反対です。もうこれ以上、たくさんの方が死ななければならない戦争を必要とたくありません。21世紀は平和の世紀と騒いでいたのに、いざ戦争が始まれば、黙り込み、平和的解決は無理とあきらめてしまうことは無責任ではないでしょうか。テロで犠牲になったたくさんの方々、平和を願うアフガニスタンや世界中の人々が必要としているものは、たくさんの方の悲しみの上には得られないのでしょうか。報復を止めただけではこの署名が達成されたことにはなりません。テロをなくし、またアメリカや日本などがつくる貧富の差、自分の国の利益を優先させた経済をかえていかなければと思うのです。このことと向き合うという決意をもって署名をお願いします。

○私は今、高校2年生です。この問題に関して私の理解しきれていないことは、たくさんあると思います。しかし、平和に暮らしたい、みんなに平和に暮らしてほしいと思う気持ちに正直に何かせざるにはいられません。この署名活動は、9月29日から始めています。私の友人、高校の先生や友達、部活の先生やなかま、母校の中学校の先生や後輩、いろんな機会を通して知り合った方々の協力のもと成り立っています。なにかの団体をつくっているわけではなく、また団体を通してのわけでもなく、有志のあつまりで活動しています。署名も直接、ブッシュ大統領、アナン国連事務総長、小泉首相に送ります。街頭での署名活動も行い、その時にアフガニスタン難民への緊急募金をユニセフを通して行いました。この署名に賛同していただける方は、ぜひともご協力お願いします。まわりの方にも呼びかけ、平和の声を広げていって下さい。署名用紙はコピーしてつかっていただいてもかまいません。署名用紙は、ブッシュ大統領、アナン国連事務総長、小泉首相と3人の方に送るので3種類あります。お願いします。ここにいる私達が、何もせずにこれからの世界どうなるのですか。

伊藤めぐみ

●署名用紙は、みえ市民活動ボランティアセンターにも置いてあります。ぜひご協力ください。

## 宿泊研修のご案内

三重県立鈴鹿青少年センターでは、宿泊研修の会場としてのご利用をおまじしています。

### ●問い合わせ先／三重県立鈴鹿青少年センター

513-0825 鈴鹿市住吉町南谷口 Tel. 0593-78-9811

Fax.0593-78-9809

## みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

## ブルデンシャルボランティア賞を、 大安町の藤田誠也さんが受賞

「第5回ブルデンシャル ボランティア賞(アワード)」

中部ブロック奨励賞を藤田誠也さん(大安町立大安中学校2年生)が受賞!

ブルデンシャル生命保険株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：河野一郎)が主催する「第5回ブルデンシャル ボランティア賞」の中部ブロック表彰式が11月11日(日)午後、名古屋国際会議場で開催され、ブロック賞受賞者4名、奨励賞受賞者5



# 助成金 ニュース

## 三菱財団社会福祉事業並びに研究助成

- 受付期間／平成14年1月8日(火)～1月23日(水)必着
- 助成の対象となる団体／日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有する者(国籍等は不問)。営利目的の企業等並びにその関係者は対象外。
- 助成の対象となる活動／現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業(原則として法人に限る)。開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究(個人・法人等いずれも可)。助成金の用途については「開拓的・実験的事業ないし研究」を基軸とした調査研究費、施設費(建設、設備資金)、施設以外の経費(職員研修費等も含む)。従って、単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は、対象外となりますのでご注意ください。
- また、ここでの「開拓・実験性」については、内容上特に具体性のあるものに限定されますが、福祉現場での「実践的、草の根的」活動に基づくものも、充分評価されます。
- 対象事業の期間／1年を原則としますが、必要やむを得ぬ場合、「2か年継続」も認められます。(2か年度分の助成申込を一括査定、助成金は2か年で使用)
- 助成の額／総額約9000万円を予定。1件宛の金額は特に定めなし。(採択予定件数約20件程度)
- 応募方法／財団所定の申込書に必要事項を記入し下記まで。なお要領・申込書用紙は、宛先記入済の角2返信用封筒に140円切手貼付したものを同封し下記まで請求いただくか、ホームページにてダウンロードしてください。また、当方より本件助成周知先宛既に送付済のもの、あるいはそのコピーを使用いただいても結構です。
- 問い合わせ先／(財)三菱財団 100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号三菱ビルディング15階  
Tel.03-3214-5754 Fax.03-3215-7168  
ホームページ <http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp>

## 平成14年度セブン-イレブンみどりの基金 『環境市民ボランティア活動助成制度』一般公募

- 応募締切／2002年2月末日必着
- 対象団体／日本国内で「環境」をテーマに活動する、市民ボランティア団体またはNPO法人を対象。
- 活動の分野／自然環境保全、地域環境美化、体験型環境教育、生態系保護、環境パートナーシップに基づく地域づくり・まちづくりのいずれかに当てはまる活動。
- 活動の種類／実践活動(最優先助成対象)、調査・研究活動(実践及び啓発に資する活動を条件とする)、啓もう活動、環境市民ボランティア間のネットワーク活動のいずれかに当てはまる活動。
- 助成の額／上限は敢えて設定しておりません。目的達成にどうしても足りないものを申請ください。但し、講師等への謝礼や事務局運営費などについては対象外とします。
- 対象の期間／2002年4月1日から2003年2月末日までの活動。
- 問い合わせ先／セブン-イレブンみどりの基金助成事務局  
Tel.03-5733-2526 Fax.03-3435-1065 E-mail  
oubo@7midori.org  
URL <http://www.7midori.org>
- セブン-イレブンみどりの基金について／1994年より「緑豊かな環境、すこやかな未来のために」を活動テーマに、店頭の募

金箱に寄せられた募金、そしてセブン-イレブン本部の拠出基金・寄付金をもとに、年2回の「セブン-イレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度」を通して、全国の環境市民ボランティア活動をしている市民の皆様にお届けし、その活動を応援しています。

## 米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

- (コミュニケーション／世論)
- 受付期間／2月
- 助成の対象となる団体／無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。
- 助成の対象となる活動／コミュニケーション／世論：日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論調査、またオピニオン・リーダーなどの各分野におけるさまざまなプロジェクトを通じ、人物、情報、アイデアを交換する機会を提供するもの。
- 応募方法／直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。
- 問い合わせ先／米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2 霊南坂ビル1F Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128 ホームページ <http://www.us-jf.org>

## 「地域の伝統文化保存維持費用助成」のご案内

- 平成14年度 財団法人安田生命クオリティオブライフ文化財団助成制度の概要
- 応募締切／平成14年1月31日(木)締切。(当日消印有効)
- 助成の趣旨／わが国において、古来地域に伝承されてきた民族の遺産とも言える固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつある現在、こうした歴史的・文化的に価値ある地域の民俗芸能(民俗行事、民俗音楽を含む。以下同じ)・伝統的生活技術(民具製作技術、伝統工芸を含む。以下同じ)等を正しく後世に残すことが時代の責務であるとの考えに立って、当財団は、これらの継承のための諸活動、とくに後継者育成に必要な技能修得のための諸活動への支援を行います。
- 助成対象／古来各地に伝わる「民俗芸能」ならびに「伝統的生活技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体を助成の対象とします。
- 助成金額／「民俗芸能」は1件につき100万円を、「伝統的生活技術」は1件につき50万円を、それぞれ限度とし、申込内容を検討の上、具体的な助成金額を決定します。
- 申込方法／申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者等からの推薦ならびに各都道府県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所管課の推薦とコメントが必要です。所定の申込書に記入し、推薦書に推薦者の推薦内容とコメントおよび捺印を得た上で、関係資料とともに送付願います。
- 問い合わせ先／  
財)安田生命クオリティオブライフ文化財団  
160-0023 東京都新宿区西新宿1-10-1 安田生命第二ビル4階  
TEL:03-3349-6194 FAX:03-3345-6388
- 助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。  
財団法人 助成財団センター  
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

# ▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。「カラス会」の小西郁さんにご紹介していただいたのは、カラス会のメンバーでもあると同時に、大王町の緑化推進委員会の会長として大活躍されている村瀬和美さんです。

## 病気から立ち直った命だからこそ人のために…

……村瀬さんがボランティアを始めたきっかけは？  
 最初は商工会の婦人部部長をしたことでしょうか。昭和55年に初めて役職についてから、今は理事としてずっと商工会の役職をさせてもらっています。活動に力を入れるきっかけになったのは婦人部部長になってすぐに激症B型肝炎という病気にかかったことです。意識不明が十何日も続いて、家族の者も覚悟を決めていたらしいのですが、奇跡的に命を拾ったんです。この時、みんなから「神様が助けてくれた命だから、大切にしなくちゃいけない」と言われて、それからボランティアというか、商工会の活動に没頭するようになったんです。この後、県商工会の副会長や理事なども務めました。  
 ……商工会の事業で印象に残っているものは？  
 昭和57年に行った商工会の三重県下統一事業で、三重県に花をいっぱい植えようという活動を各町で行ったことですね。この時に他の市町村の方は行政から補助をもらったりしていたんですが、なぜか大王町だけは役員の方々が行政のお金をいただかないで、自分たちの力でやろうということになったんです。商工会で夜店などをするといくらか、お金が貯まるでしょう？それで花の苗を買って、それこそ町中に花を植えました。プランターだけで100個以上ありました。

## 緑化活動で楽しく健康増進

……商工会での活動が大王町に認められたとか？  
 7年ほどまえに、大王町が緑化推進委員会をつくった時、メンバー



「大王町緑化推進委員会」「大王町商工会」  
**村瀬和美** さんに 聞く

ダンダラボッチ公園のベビーベッドをリサイクルした花壇の門の前で

の一人に選ばれました。ところが役員さんになったなかにもお花の名前を知らないような方がたくさんいまして。私は商工会の活動もあって、割に花の名前に詳しくはなかったので自然とみんなから「村瀬さん、会長をしてちょうだい」ということになったんです。

……緑化推進委員会のメンバーは何人ですか？  
 20人くらいが委員という形で選ばれました。ここは波切ですが、大王町には船越や畔名などいくつかの在所がありますから、各地で活動をしています。

……村瀬さんの活動はどこで行われていますか？  
 漁協の浜の近くにある「ダンダラボッチ公園」です。この公園がつけられたあと、緑化推進委員会ができました。県か、町かはわかりませんが東屋も建ててくれましたし、郵政省から寄付された観光地区もあります。プランターもたくさんいただいたのかな。ここには「波切のわらじの足跡」と言う岩のレプリカが置いてあるんです。大王町では9月の第2の申の日に、わらじ祭というのを行って大きな草履を海に流します。昔、ダンダラボッチという大男がこの辺りにいて、悪さをするのでそれを懲らしめるために大きな草鞋をつくり、「波切の村にはこんな大きな草鞋を履く大男がいるぞ」って見せたという話を元にしたお祭りです。この岩はダンダラボッチの足跡が残っていると伝えられているので、わらじの足跡と呼ばれているんです。この公園に連なる花壇と、道に沿って植えた花や樹木を世話しています。長さは100メートルくらいはあるのかなあ。

……この公園で活動しているメンバーは？  
 常時、携わっているのは谷村さんと井上さん、スーパーを経営している橋本さん。それに女性が3、4人ほど入って、365日活動しています。私は本当に名前ばかりの会長で、みなさんがよくしてくれるんですよ。

……毎日というのはすごいですね。  
 特に熱心なのは谷村さん、井上さん、橋本さんですね。朝は必ず6時半くらいから2時間かけて、花に水をあげてくれます。次は夕方。夏なら毎日、冬場は水をやりすぎると根が腐りますから、2日に一度、水やりをしてくれます。水やりの無い日も毎日みえますよ。来ないと調子が悪いみたい(笑)。この公園を綺麗にしようという、会員みんなの気持ちには町長も「頭が下がる」とおっしゃってました。

……自宅の庭を手入れするのと同じくらい、思い入れがあるんでしょうね。  
 公園は広いので水やりが大変でしょう。そうしたら長さ2メートルくらいのプラスチックパイプにたくさん穴をあけた、散水パイプをつくってくれたんですよ。それに花の周りに石を積んだり、ブロックで「大王」という文字にした花壇をつかったり、いろんなことをしてくれます。花壇に入る所に門があるのですが、それも不要品のベビーベッドを再利用してつくったものです。ベッドの頭の部分は門に、残りの木材はハイビスカスなど寒さに弱い花のために囲ってくれました。

……専門家顔負けの仕事ぶりですね。  
 二人とも、楽しんでやってくれているんです。朝の水やりの後でシャワーして、お茶を飲んで食事をいただく。それが身体にいいっ

て。それに、「無料でこんな楽しいことをさせてもらって、私たちのような年齢のものを若い仲間の中に誘ってくれるなんて、これほど嬉しいことはない」っておっしゃってくれるんです。心から喜んで、作業してくれる人がいる。こういうことが一番、ありがたいですね。

**時には公園に設置されている観光地図を見に来た観光客の方にも、あられやお菓子をすすめたりするんですよ。**

……材料費はどうしているのですか？

つくりたい人が出す…という感じですね。それが苦にならないっていうのが面白いと思いませんか？

……花の苗などはどうしているのですか？

サザンカやサクラ、ヤマモモなどの大きな物は最初に、町が植えてくれました。この時は町民全員参加の植樹会をして、植えた人の名札を木にかけたんです。それ以外の花はいろいろですね。去年の落ち穂を定植して、今年の花にしたものもあります。たまに、私のお小遣いから出したり…。みんなが気の向くまま、苗のあるまま植えるんですよ。だからいろんな花が植わっているんです。あと、以前うちの店で働いていた高橋さんという方が花好きで、私の活動を見て自分も何かできないかと考えて、「苗を育ててあげましょう」と言ってくれたんです。それが年3回くらい、だいたい1200~1300個ほどもあるんですよ。最近、見に来られた行政の方は浜菊というこの辺に元から生えている花を増やしたらどうかって言ってましたね。海のそばなので、潮に強い花じゃないとダメなんです。

……行政からの補助というのはいくら受けていないのですか？

自分たちで気儘にやりながら、健康維持もできたらいいなぐらいに思っています。でも、委員会のジャンパーは町につくってもらったんですよ。

これをつくるまではここで手入れをしても「町からいくらもらっているの？」とかシルバー人材センターの人のように思われていたんです。ジャンパーを着るようになってから、ボランティアだということを理解してくれるようになりました。また、肥料や苗木などは、町でも用意してくれます。

……定例の活動日は無いのですか？



メンバーの井上さんと谷村さんが水やりのホースを工夫しています。

毎月第1日曜日です。どなたでも、1日だけでも参加してくださいと呼びかけています。もちろん、強制ではなく、自主参加。みんなで作業した後は私の手づくりあられとお茶。それに橋本さんから夏は冷たい物、冬は暖かい物が差し入れられるんです。時には公園に設置されている観光地図を見に来た観光客の方にも、あられやお菓子をすすめたりするんですよ。

緑化推進委員会の会議も役場ではなくここでやればいになって思うのです。ここなら人が集まる前にちょっと草抜きとかできて、無駄がないでしょう？

……現場で会議。堅苦しくなくていいですね。その辺りが長続きの秘訣でしょうか？

そうですね。うちのメンバーは少しずつ、増えているんですよ。ただ、これが何年続くかと考えると少し怖いんですけどね。でも大王病院やその横にあるいきいき水仙館という施設、中央公民館など。まだまだ、花を植えたいと思うところもあります。それに、これだけの規模を行政の補助をほとんど受けずに世話している所って、県内でも少ないと思うんです。それだけは私、胸を張れると思っています。

## 周囲の人々に支えられて…

……村瀬さんは他にもいろんな役職をされているそうですね？

大王町の絵描きの町実行委員会の委員に活性化審議会。それから大王病院の運営委員、三重県の空間条例に関する委員もしています。

……本当にたくさんのお仕事をされていますが、困ることなどないですか？

つい先日も出席するはずだった会議を、すっかり忘れていたということがありました(笑)。

……絵描きの町宣言はいつ頃ですか？

平成8年3月14日です。平成14年3月には第3回大王大賞展が開かれます。入選作は絵はがきにもなるんですよ。お礼状を書く時などに利用して、アピールするよう務めています。

……それにしても忙しいでしょうし、物事を処理することも多いでしょう？

周りの役員さんがうまくやってくれるんです。ダンダラボッチ公園の緑化でもそうでしょう？いろんな役職になっていますが私なんて名前だけ。実際に活動してくれる人たちがいるからやれているんです。私は一緒に活動している人に「それはだめなんじゃない？」というようなことは言わずに、活動に報いる言葉だけをきちんと伝えようと思っています。その方がやりがいもあるでしょう。

……行政との窓口は村瀬さんの役目では？

それは全部、やっています。時にはがっかりするようなこともあります。そんな時は夫や家族がよくしてくれます。ボランティアって家族の協力が無いとできないですよ。

村瀬和美さん

住所/志摩郡大王町波切1204-4

Tel.0599-72-0269

村瀬和美さんはこの人を **紹介** します。

中田かほる(なかたかほる)さん

村瀬和美さんにご紹介いただいたのは、一志郡美杉村奥津在住で、地域に密着した活動をされている他、県商工会の女性部長をされている方です。

お  
ね  
が  
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。